

木津川市創生総合戦略作成におけるこれまでの経過 及び今後のスケジュール



平成27年5月12日
第1回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会



木津川市

まち・ひと・しごと創生法の概要

目的（第1条）

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

※まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

まち…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

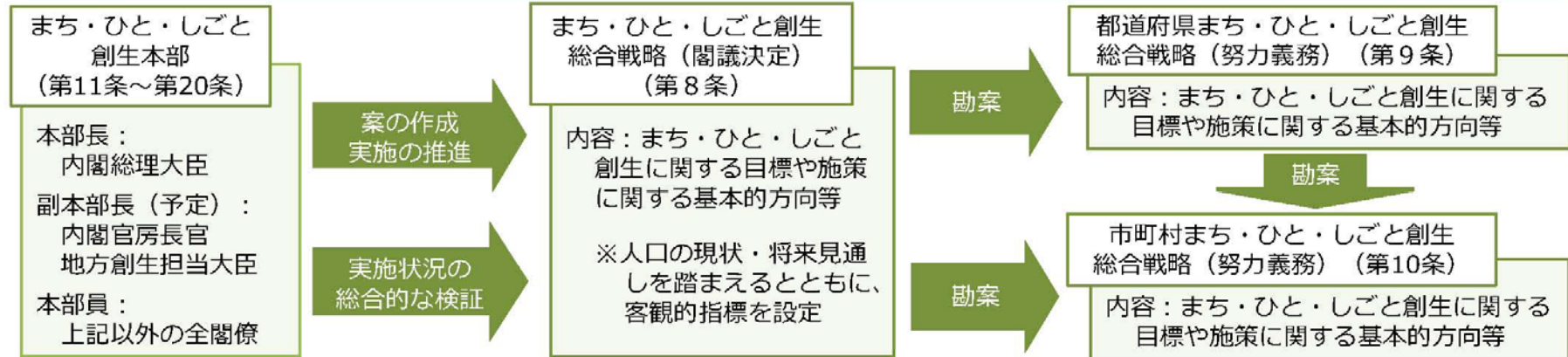
ひと…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと…地域における魅力ある多様な就業の創出

基本理念（第2条）

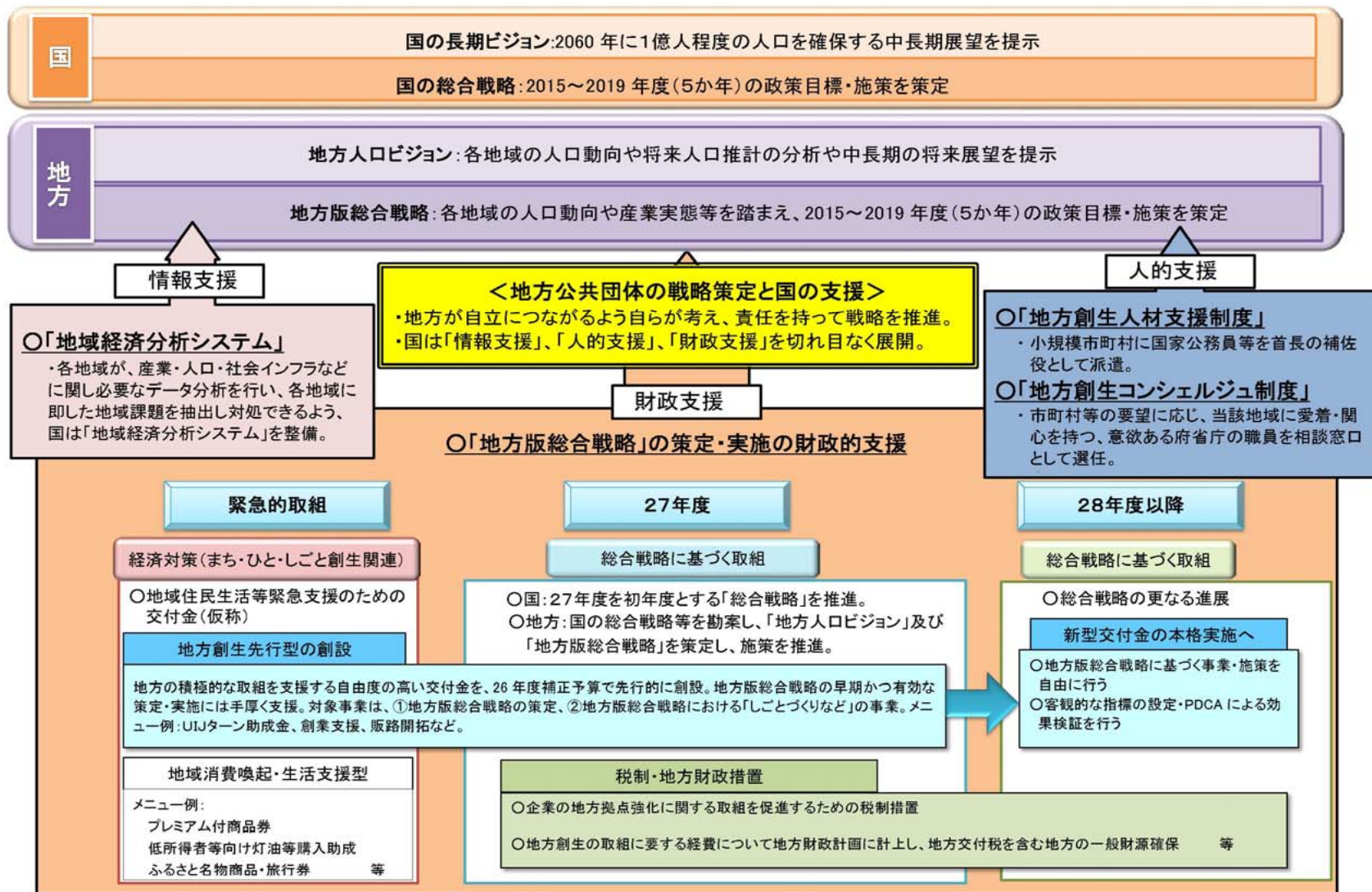
- ①国民が個性豊かで魅力ある地域社会で潤いのある豊かな生活を営めるよう、それぞれの地域の実情に応じた環境を整備
- ②日常生活・社会生活の基盤となるサービスについて、需要・供給を長期的に見通しつつ、住民負担の程度を考慮して、事業者・住民の理解・協力を得ながら、現在・将来における提供を確保
- ③結婚・出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、結婚・出産・育児について希望を持てる社会が形成されるよう環境を整備

- ④仕事と生活の調和を図れるよう環境を整備
- ⑤地域の特性を生かした創業の促進・事業活動の活性化により、魅力ある就業の創出
- ⑥地域の実情に応じ、地方公共団体相互の連携協力による効率的かつ効果的な行政運営の確保を図る
- ⑦国・地方公共団体・事業者が相互に連携を図りながら協力するよう努める

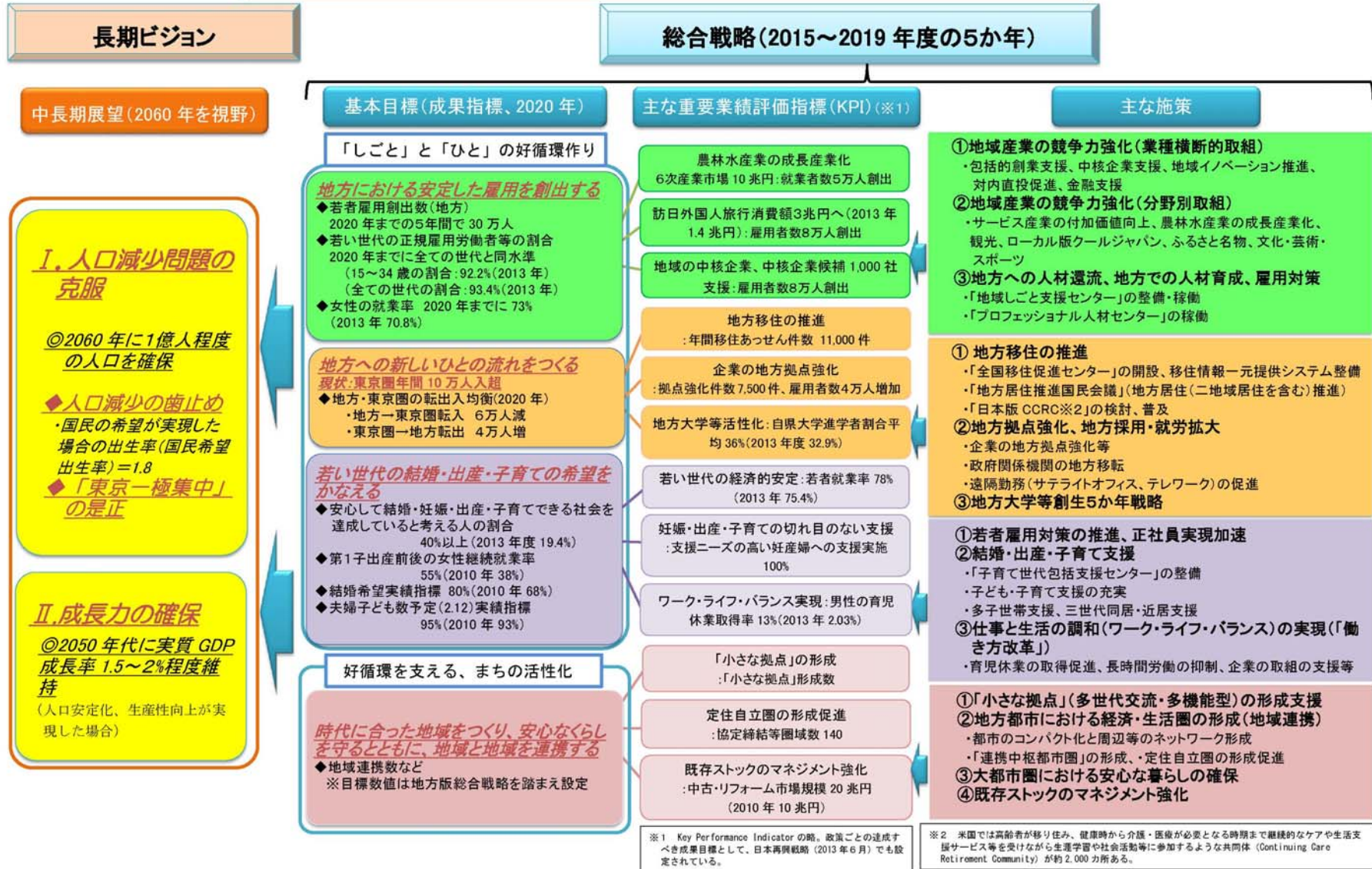


施行期日：公布日（平成26年11月28日）。ただし、創生本部・総合戦略に関する規定は、平成26年12月2日。

地方への多様な支援と「切れ目」のない施策の展開



まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像



人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略：平成26年12月27日策定

まち・ひと・しごと創生本部作成資料

I - I 木津川市の将来人口推計

木津川市の人口は、市全体としては、年々増加している。ただし、人口の増加率は鈍化傾向にある。

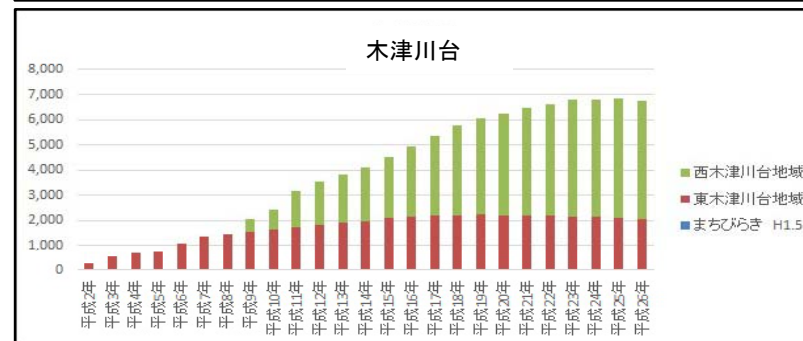
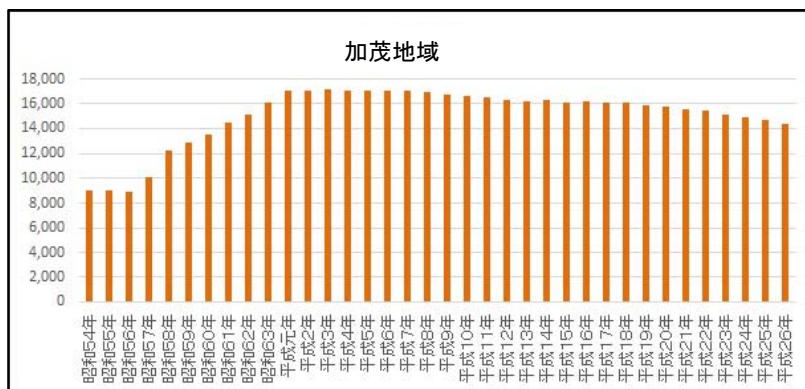
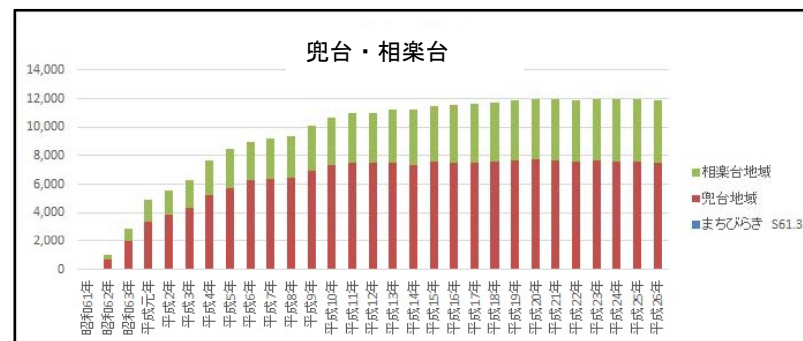
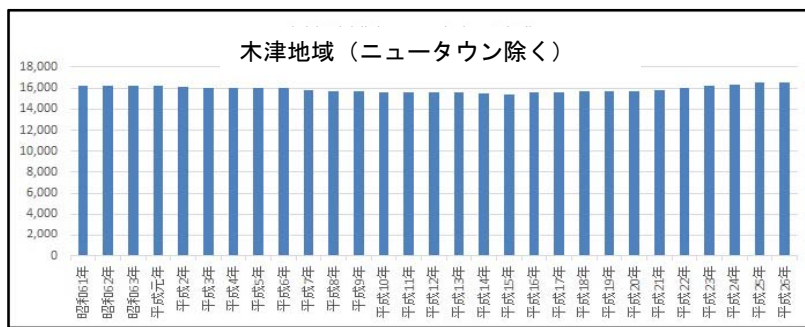


年次	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成19年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
人口(人)	34,198	39,404	48,573	52,936	59,062	63,613	66,580	69,789	73,834	76,320	78,112	79,356	80,134	80,571

出典：1980年～2010年 住民登録人口及び世帯数（各年3月末日現在）
 2015年～2040年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」及び「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）

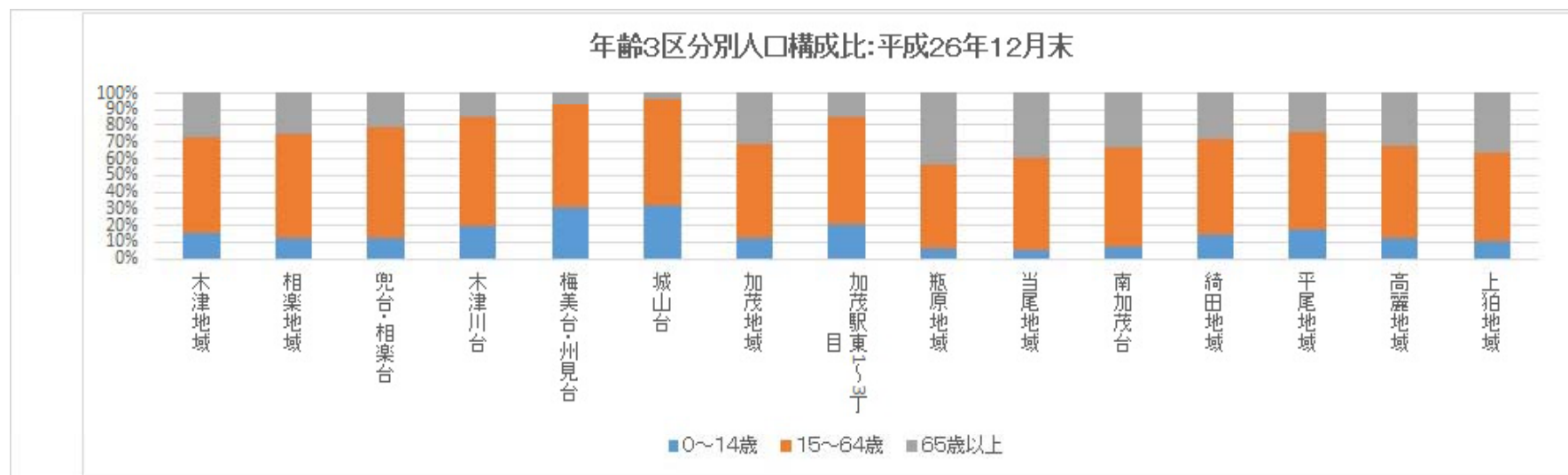
I - II 木津川市の人口

地域別の人口は、木津地域では増加しているものの、加茂・山城地域において、減少していることが分かる。また、ニュータウン開発地域において、まちびらきから概ね20年が経過すると著しい人口増加は一定収束し、25年が経過すると減少に転じている。



II 木津川市の人口区分

ニュータウン開発地域においては、65歳以上の比率が低いものの、兜台・相楽台地域では、高齢化率は20%を超えている。
一方、旧集落などにおいては、全てにおいて25%を上回っており、最も比率が高かったのは、瓶原地域で、43.24%となっている。



	木津	相楽	兜台 相楽台	木津川台	梅美台 州見台	城山台	加茂	駅東	瓶原	当尾	南加茂台	綺田	平尾	高麗	上粕
0-14歳(%)	14.96	12.79	12.80	19.85	31.18	32.16	12.86	20.26	6.52	5.25	7.69	14.80	17.96	12.20	9.84
14-64歳(%)	57.80	61.67	66.42	65.76	62.07	63.97	55.88	65.03	50.24	55.33	59.43	56.58	58.07	55.16	54.21
65歳以上(%)	27.24	25.54	20.78	14.39	6.75	3.87	31.26	14.71	43.24	39.42	32.88	28.62	23.97	32.64	35.95
人口(人)	12,476	4,145	11,967	6,751	13,254	1,418	5,326	972	1,487	629	5,875	1,771	3,012	1,262	2,662

Ⅲ 地方創生に向けた木津川市の取り組み

- 1 少子高齢化・人口減少問題は、木津川市としても対策に取り組むべき課題である。特に、旧中心市街地や近隣集落などでは、過疎化や空き家などの問題も抱えており、他の自治体と同様の問題を有している。
- 2 本市では、学研都市として土地区画整理事業が進められたことにより、30歳～40歳台の世帯、いわゆる子育て世帯が大きく増加している。子どもは、宝であり、子育て支援№1のまちづくりを推進している。また、学研都市の利点を活かし、企業の誘致を進め、雇用・就業の創出をおこなっている。

人口が増加する今のうちから、将来に向けて課題となる人口減少・高齢化・地域の活性化などの対策に取り組む必要がある



木津川市のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、住みたい・住み続けたい・住んで良かった、そして活力あるまちづくりを進め、人口減少などの課題解決に取り組む。

IV 地域住民生活等緊急支援のための交付金（概要）

地域住民生活等緊急支援のための交付金の概要

経済対策に関する 内閣総理大臣指示

エネルギー価格の高止まりなど物価動向や消費に関する地域の实情に配慮しつつ、地域の消費喚起など景気の脆弱な部分に、スピード感を持つて的を絞った対応

しごとづくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組みを通じて地方の活性化を促す

地域消費喚起・生活支援型

目的

地方公共団体（都道府県及び市町村）が実施する、地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策に対し、国が支援

対象事業

地方公共団体が策定する実施計画に定めた上記の事業

メニュー例：プレミアム付商品券（域内消費）、ふるさと名物商品券・旅行券（域外消費）等

運用の基本スタンス

人口・財政力指数等に基づく配分を行い、迅速に執行

国予算：2,500億円

木津川市内示額：
98,136千円

地方創生先行型

目的

地方公共団体（都道府県及び市町村）による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対し、国が支援

対象事業

- ①地方版総合戦略の策定
- ②地方版総合戦略における「しごとづくりなど」の事業

メニュー例：UIターン助成等

運用の基本スタンス

地方公共団体が事業設計を自由に行うこととともに、明確な政策目標の下、客観的な指標の設定やPDCAの態勢整備を求める、新しいタイプの交付金

基礎交付：人口、財政力指数等に基づく配分

上乗せ交付：地方版総合戦略に基づく事業など内容の優れたものに対して配分

国予算：1,700億円
(上乗せ300億円含)

木津川市内示額：
40,637千円

V 地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用する事業

地域消費喚起として、プレミアム商品券を発行する。生活支援として、子育て生活及び高齢者の元気な生活を支援する。

地方創生先行型は、総合戦略策定経費8,000千円のほか、地域公共交通利用促進、観光振興として木津川市イメージDVD、Wi-Fiの整備事業などに活用する。

地域消費喚起・生活支援型：98,136千円

- 1 木津川市プレミアム商品券発行事業：販売枚数 約10,000枚
10,000円で、12,000円の買い物ができるプレミアム商品券の販売
- 2 子育て生活支援事業（対象者：約1,400人）
18歳以下の子供が3人以上いる世帯の世帯主に、3人目以上の子ども一人につき24,000円分の商品券を支給
- 3 高齢者の元気な生活支援事業（対象者：約2,400人）
介護認定を受けていない80歳以上の高齢者に12,000円分の商品券を支給

地方創生先行型：40,637千円

- 1 総合戦略策定
- 2 地域公共交通事業
バス交通活性化プロジェクト（移動手段の効率的な運行・経費削減及び利用促進策の実施検討委託）
- 3 小さな拠点観光事業・・木津川アート開催検討、観光地の整備
- 4 市のイメージDVD作成事業・・定住・交流の推進、観光客の誘客、企業誘致
- 5 観光・市民サービス拠点の機能強化
観光施設などに公衆無線LANを整備するとともに、サイトの整備

VI 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体系

人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略

推進委員会

【構成】

委員数：20人以内

- 委員：(1) 公募により選出された住民
(2) 識見を有する者
(3) その他市長が必要と認める者

【役割】

- ①人口ビジョン及び総合戦略の策定・効果検証
- ②WS等からの取組み意見の審議

情報共有・連携協力

WS(ワークショップ)

【構成】

参加者：まちづくりに携わっている、携わろうとする方及び団体

例：観光・子育て・婚活・農商工・企業誘致等の分野

【役割】

市を活性化するための取組み施策の提案・活動の取組み

創生本部会議

【構成】

委員数：14人（平成27年4月現在）

本部長：市長、副本部長：副市長、
構成員：教育長及び部長

【役割】

- ①人口ビジョン及び総合戦略の策定・効果検証
- ②WSへの参画（部長：部の所掌事務に係る内容）
- ③WTへの施策展開の指示・とりまとめ
- ④WT・WS等からの取組み施策の検討

WT(ワーキングチーム)

【構成】

委員数：36人（平成27年4月現在）

構成員：課長

【役割】

- ①人口ビジョン・総合戦略策定のため、市を活性化するために必要な施策の提案・推進・取組み・検討
- ②WSからの提案施策実現に向けた検討
- ③本部会議に展開施策の報告
- ④総合戦略の効果検証

事務局：学研企画課 企画政策係

- 【役割】①推進委員会・創生本部会議・WS・WTの運営
②その他連絡調整などの事務

VII まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会スケジュール（案）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
推進 委員会	第1回		第2回		第3回	第4回	案・パブコメ		第5回	第6回	戦略策定
WS			随時開催								
WT 本部会議	第1回	第2回		第3回		第4回			第5回		
委託調査 業者	情報整理	検討 人口ビジョン	課題整理 戦略検討	施策の検討							
アンケート 調査		意識調査 取りまとめ 分析									

【委員会協議内容】

- 第1回：総合戦略説明、市の現状確認
- 第2回：基本方針、基本目標、基本施策
- 第3回：中間案（骨子）

【委員会協議内容】

- 第4回：中間案審議
- 第5回：提出意見反映案審議
- 第6回：総合戦略審議